

第27回今野賞

(平成29年度)

募集要項

「第27回今野賞」の応募の受け付けを行います。今野賞は、宮城県の特別支援教育の振興を図るため設けられました。設立から27年目を迎え、教育賞として高い評価を得ています。

本募集要項をご覧の上、関係各位には推薦について格別のご協力とご援助を賜りますようお願い申し上げます。

**公益信託今野芳雄記念
宮城県心身障害児教育振興基金運営委員会**

〒980-0811 仙台市青葉区一番町三丁目1-1

仙台ファーストタワービル7階

みずほ信託銀行仙台支店内

TEL 022-225-7692

FAX 022-264-2664

1 今野賞の目的

障害のある子どもたちの教育は、一人一人に応じた支援が必要とされています。特別支援学校や、小・中学校などの特別支援学級や通常の学級などで、現在障害のある子どもたちの指導の充実を図ることが求められています。

「今野賞」は特別支援教育現場で、意欲的に研究に励み、創意あふれる指導を行い、優れた業績をあげている教育者を広く県内から選び、その功績の顕彰及び研究を助成することにより、現場で指導にあたる人々の励みとし、創造性豊かな教育環境が一層進むことを目的としています。

2 募集部門・募集対象

募集部門	募集対象
<p>A 功績者顕彰（推薦） 特別支援教育に意欲的に取り組み、優れた学校経営、学習指導、研究を行うなど、その振興に顕著な貢献をされた方、又は、団体を顕彰します。</p>	<p>県内小・中学校特別支援学級担任、通級による指導の担当者、特別支援学校の教員及び特別支援教育の指導者で、団体も含まれます。</p>
<p>B 若手指導者育成（推薦） 特別支援教育では、障害のある子どもたちの社会参加と社会自立を図るため、障害の状態等に応じて教育内容や方法を工夫していくことが求められています。 こうした課題解決に、熱意をもって努力してきた40歳未満の方の具体的な実践例を期待します。</p>	<p>若手指導者とは、40歳(平成30年3月31日現在)未満の方をさします。 若手指導者育成については、県内小・中学校特別支援学級担任、通級による指導の担当者、特別支援学校の教員及び特別支援教育の指導者が対象です。</p>
<p>C 課題研究助成（推薦） 特別支援教育が抱えている緊急で、今日的課題を解決するための専門性の高い研究を計画・実践をしてきた40歳以上の方、又は、団体に対し助成します。特に、創意と工夫にあふれ、この教育の発展に役立つ実践例を期待します。</p>	<p>県内小・中学校特別支援学級担任、通級による指導の担当者、特別支援学校の教員及び特別支援教育の指導者で、団体も含まれます。</p>
<p>D 通常の学級における実践研究助成（推薦） 通常の学級において、学びにくさや不適応状態を示す子どもたちの存在がクローズアップされています。このような子どもたちを含めた通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする子どもたちに対する指導等に関しての実践研究をしている方、又は団体に助成します。通常の学級担任の方やそれを支援している特別支援学級担任等の具体的な実践例を期待します。</p>	<p>県内小・中学校の通常の学級担任、特別支援学級担任、通級による指導の担当者及び特別支援教育の指導者で、団体も含まれます。</p>

- ・今野賞の目的に鑑み、上記B部門、C部門、D部門は重複して応募できません。
- ・昨年度受賞（入賞を除く）された方は、本年度応募できません。
- ・昨年度入賞された方については、入賞論文を再構成して応募すること、または別の論文を応募することができます。

3 応募方法

(1) 推薦の方法

- ・所属長又は関係機関が推薦者となります。
- ・様式1（推薦票）に必要事項を記入してください。

(2) 提出書類及び留意点

募集部門	提出書類	留意点
A 功績者顕彰	<ul style="list-style-type: none"> ・様式1（推薦票） ・様式2（経歴書） ・功績を証明する資料 <p style="text-align: center;">【形式自由】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の場合は、代表者名をもって記入してください。
B 若手指導者育成 D 通常の学級における実践研究助成	<ul style="list-style-type: none"> ・様式1（推薦票） ・様式2（経歴書） ・応募者自身による実践論文 A 4判で形式自由。ただし、資料を含め10ページ以内。1,000字以内の要約文を添付のこと。 <p style="text-align: center;">【以上、厳守のこと】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実践論文は、過去3年以内にまとめたもので、発表・未発表を問いません。ただし、大学や県総合教育センター等の研修に伴うものは除きます。 ・実践論文は、発表に関して本人もしくは保護者の同意を得ていることが必要です。承諾を得た旨を本文中に記載してください。 ・受賞（入賞を除く）された論文は今野賞のホームページに掲載します。本人のプライバシーに配慮した論文作成をお願いします。 ・応募された論文は返却いたしません。
C 課題研究助成	<ul style="list-style-type: none"> ・様式1（推薦票） ・様式2（経歴書） ・応募者自身による研究計画を含む実践論文 形式及び要約文はB・D部門に準ずる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践論文は、発表に関して本人もしくは保護者の同意を得ていることが必要です。承諾を得た旨を本文中に記載してください。 ・受賞（入賞を除く）された論文は今野賞のホームページに掲載します。本人のプライバシーに配慮した論文作成をお願いします。 ・応募された論文は返却いたしません。

(3) 送付先等

- ・提出書類一式を以下の送付先へ郵送願います。
- ・論文と要約文は、その電子データ（ワード、一太郎）もメールに添付して提出願います。
- ・送付先：宮城教育大学附属特別支援学校長 あて（担当者：教頭 高橋 俊次）

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉395-2

TEL 022-214-3353

FAX 022-214-3362

E-mail tokushi@tokushi.miyakyo-u.ac.jp

(4) 応募締切 平成29年10月31日（火）必着

4 審査

(1) 応募方法に沿って提出されたものの中から、下記のとおり受賞者を選びます。

A 功績者顕彰	・若干数
B 若手指導者育成	・最優秀賞1件 ・優秀賞2件以内
C 課題研究助成	・最優秀賞1件 ・優秀賞1件
D 通常の学級における実践研究助成	・最優秀賞1件又は優秀賞2件以内

※ 上記のほか、全応募の中から入賞10件程度を選びます。

(2) 審査の観点

A 功績者顕彰	① 特別支援教育に著しい貢献をしたか ② 優れた学校経営、学習指導、研究を行ってきたか ③ 長年にわたり特別支援教育の振興・実践に努め、意欲的に取り組んできたか 団体：30年以上の教育実践と県全体の特別支援教育振興への貢献（自主公開研究会等による研究実践の積み重ね、研修会等の継続的な実施による地域への貢献） 個人：10年以上にわたる意欲的な教育実践と優れた学校経営、学習指導、研究の積み重ね
B 若手指導者育成 C 課題研究助成 D 通常の学級における実践研究助成	① 目標・内容・方法が的確にとらえられているか ② 研究・実践に実証性・独創性があるか ③ 研究・実践の成果や課題が明確になっているか ④ 論文の構成及び叙述が適切か

5 発表と助成及び表彰

- ・受賞者は、平成30年1月15日までに本人又は代表者に通知します。
- ・表彰式は、平成30年2月上旬に行う予定です。その席上で賞状と目録をお贈りします。表彰式の日程や場所等については、受賞の通知書に記載します。

6 選考委員

黒田 章	元宮城県特別支援学校長会長
辻 誠一	東北福祉大学准教授 元宮城県特別支援教育研究会知的障害教育専門部長
中山 伸枝	仙台市教育委員会特別支援教育課囑託 元仙台市小学校教育研究会特別支援教育部会長
青木 真澄	塩竈市教育委員会学びの支援センター所長 元宮城県教育庁特別支援教育室長補佐
仲野 繁俊	仙台市小学校教育研究会特別支援教育部会長 (仙台市立連坊小路小学校長)
水谷 好成	宮城県特別支援教育研究会長 (宮城教育大学附属特別支援学校長)
菅井 裕行	宮城教育大学教授
千葉 剛	宮城県特別支援学級設置学校長協議会副会長 今野賞担当 (柴田町立槻木小学校長)
跡部 久美	宮城県特別支援学校長会 今野賞担当 (宮城県立山元支援学校長)
秋山 一郎	仙台市中学校教育研究会特別支援教育部会長 (仙台市立長命ヶ丘中学校長)
三浦 由美	宮城県教育庁特別支援教育室副参事 (班長)
原 新太郎	仙台市教育局学校教育部特別支援教育課主幹

7 今野賞のホームページ <http://tokushi.miyakyo-u.ac.jp/konno-shou.html>

今野賞

応募要項、受賞者一覧 (最優秀賞並びに優秀賞論文を含む) を掲載しています。

今野賞のお問い合わせは

〒980-0811 仙台市青葉区一番町三丁目1-1

仙台ファーストタワービル7階

みずほ信託銀行仙台支店内

「今野賞運営委員会」係

担当 矢作直之

布田智恵子

TEL 022-225-7692